

# 第 1 回 てだこ浦西駅交通結節機能強化検討会

---

## 会 議 資 料

# 目次

<b>1. 検討の背景</b>	<b>・・・ p.1</b>
<u>1-1. 沖縄交通り・デザインについて</u>	
<u>1-2. 検討にあたって</u>	
<u>1-3. 検討の流れ（スケジュール）</u>	
<b>2. 令和6年度に作成した整備方針（案）</b>	<b>・・・ p. 4</b>
<u>2-1. 上位計画等での位置づけ</u>	
<u>2-2. 現状・課題</u>	
<u>2-3. アンケート、ヒアリングの声</u>	
<u>2-4. てだこ浦西駅に求められる機能</u>	
<u>2-5. てだこ浦西駅交通結節機能強化の整備方針(案)</u>	
<u>2-6. （参考）本検討における計画範囲</u>	
<b>3. 令和7年度の業務内容</b>	<b>・・・ p.14</b>
<u>3-1. 業務概要、スケジュール</u>	
<b>4. PIの実施内容</b>	<b>・・・ p.15</b>
<u>4-1. 意見聴取（PI）のターゲット設定</u>	
<u>4-2. PIの実施方法</u>	
<b>5. 今後実施すべき実証実験の方針</b>	<b>・・・ p.17</b>
<u>5-1. 実証実験の方針</u>	
<b>6. 意見交換項目</b>	<b>・・・ p.19</b>
<u>6-1. 意見交換にあたっての視点</u>	

# 1. 検討の背景

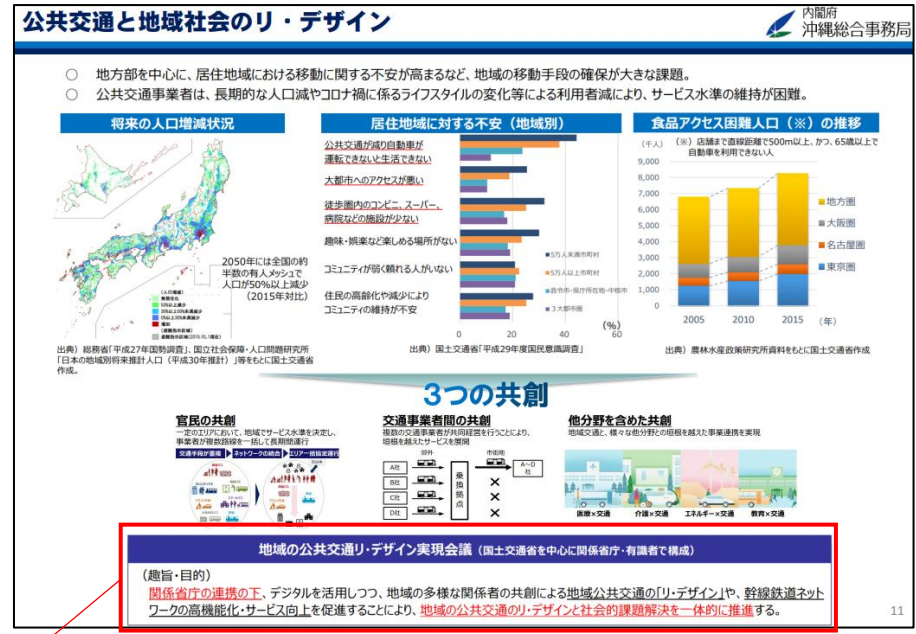
## 1-1. 沖縄交通リ・デザインについて

1

### 【沖縄交通リ・デザイン官民共同宣言】

(一部引用)  
わたしたちは、沖縄に暮らす住民はもとより、経済・金融・エネルギー・観光・教育・交通・都市といった多様な主体も一体となつて、「沖縄のありたい姿」の実現に向け、「ライフスタイルの転換」と「効率的な移動環境の整備」を車の両輪として、沖縄の交通や都市のリ・デザイン（再構築）に取り組み続けることをここに宣言します。

引用：沖縄交通リ・デザイン実現検討会資料（沖縄総合事務局HP）



関係者の共創による、公共交通のR・デザインや、ネットワークサービスの高機能化等が重要

交流拠点、交通結節点などの今後の視点を示唆

てだこ浦西駅の交通結節機能強化の検討に取り組む  
(交流拠点、中部・東海岸エリアを結ぶ結節点、人の集まる交通結節点)

# 1. 検討の背景

## 1-2. 検討にあたって

2

### 【駅まちデザインの手引き】（駅まちデザイン検討会／国土交通省 駅まちデザイン検討会）

- 駅とまちが上手につきあっていくために特に重要なポイントを駅まちデザインの5原則として紹介

1. 多様な主体の連携
2. **ビジョンの共有**
3. 空間の共有
4. 機能の連携
5. 一体的で柔軟な管理運営



#### ビジョンの共有

駅まちデザインを進めるにあたって課題やビジョン（まちの理想像）、具体的な方策などについて、常に多様な関係者とイメージを共有しながら進めることが重要です。



引用：駅まちデザインの手引き（国土交通省）

### 【交通拠点の機能強化に関する計画ガイドライン】（国土交通省道路局／令和3年4月）

- 基本計画等で設定された計画の対象範囲や調査された現状・課題・ニーズ等を参考に、交通拠点を整備する周辺地域の課題やニーズを整理し、交通拠点の機能強化の必要性を明確化する。
- これらの課題やニーズを踏まえ、将来的な環境の変化等も考慮した未来志向の整備方針を作成し、関係者間で調整・確認する。

引用：交通拠点の機能強化に関する計画ガイドライン（国土交通省）

交通結節点機能強化に向けて、関係者間でビジョンの共有が必要

### 【てだこ浦西駅交通結節機能強化検討会】

沖縄都市モノレールてだこ浦西駅（駅周辺の交通広場及び高架下等を含む）の交通結節機能強化に関する整備計画の策定に向け、駅に求められる乗換機能の強化及び利便性向上、賑わい創出等に関して、有識者、交通事業者、地域団体等を含めた幅広い視点において意見交換することを目的として開催する。

# 1. 検討の背景

## 1-3. 検討の流れ（スケジュール）

3

- 令和6年度は、現状分析・課題把握等を行い、関係者へのヒアリング・住民等へのアンケート調査を実施し、関係者会議による意見交換も踏まえ、交通結節機能強化に関する**整備方針案を整理**した。
- 令和7年度は、より幅広かつ的確に意見を抽出する目的で、**住民等参加型のワークショップ等（PI）を実施**し、有識者及び交通事業者等も含めた検討会にて意見交換を行ったうえで、**交通結節機能強化整備計画（案）を作成**する。
- 令和8年度は、上記の検討を踏まえ、必要な機能において**実証実験等を実施**し、**交通結節機能強化整備計画を策定**する。

令和6年度

### ■ 整備方針（案）の作成

次項より説明

令和7年度

### ■ 検討会の設置

学識経験者や交通事業者、民間事業者、行政等の関係者からなる検討会を設置し意見交換を実施。

### ■ PI（住民等参加型）

住民や学生等によるワークショップや、アンケート等により意見抽出。



学生ワークショップ（沖縄県事業例）

令和8年度

### ■ 実証実験の実施

2次交通等の試験的導入、憩いの場・デジタル案内板の仮設置など、必要な機能において実証実験を実施。

### ■ 整備計画の策定

PI、実証実験等を踏まえ、整備計画を策定。



デジタルサイネージ案内（岐阜駅）



にぎわいイベント（ゆいレール祭り）

令和9年度以降

### ■ 事業の実施・展開

事業の展開においては、役割分担等を踏まえ、各整備主体と連携した取り組みが必要。

## 2. 令和6年度に作成した整備方針（案）

### 2-1. 上位計画等での位置づけ（交通結節点関連）

#### 指針

（交通拠点の機能強化に関する計画ガイドライン（R3年4月））

交通拠点に求められる具体的な機能として、交通機能（基本機能、交通結節機能）、防災機能、交流等機能（地域の拠点・賑わい機能、サービス機能、景観機能）がある。<sup>1)</sup>

#### 県の上位計画

（沖縄県総合交通体系基本計画（R4年10月）等）

- 幸地IC（仮称）との結節を図り、中部方面以北からの路線バスやP&Rによる利便性を高める<sup>2)4)</sup>
- パーク＆ライド駐車場の利用促進、高速バスとの結節、シェアサイクル及びレンタカーとの連携<sup>2)3)5)</sup>
- ★まちづくりと連携した交通結節点の整備を促進<sup>3)</sup> 観光、私事や買物等の利用促進に向けたイベント実施の継続<sup>4)</sup>
- 観光二次交通の交通結節点の整備を促進<sup>3)</sup>
- バス停上屋の整備、デジタルサイネージ・動的データのオープン化<sup>5)</sup>

●広域移動手段関係 ■駅の有する機能の関係 ▲浦添市内の周辺地域との連携関係 ★まちづくり、賑わい関係

#### 浦添市の関連計画

（浦添市地域公共交通計画（R6年2月）等）

- 総合交通結節点として整備（交通結節、交流機能、景観、防災等）、旅客輸送の起終点（営業所）の整備<sup>6)</sup>
- ▲今後市内で検討するコミュニティバス、マイクロモビリティとの連携強化<sup>6)</sup>
- ★大型商業施設、フィットネス施設、オフィス等の誘致による多機能拠点の形成（にぎわい）<sup>7)</sup>
- ▲エネルギーセンターと地区内事業者の協力による防災への取組<sup>7)</sup>

1)：交通拠点の機能強化に関する計画ガイドライン（R3年4月 国土交通省道路局）  
2)：新・沖縄21世紀ビジョン基本計画（R4年5月 沖縄県）  
3)：沖縄県総合交通体系基本計画（R4年10月 沖縄県）  
4)：沖縄県地域公共交通計画（R6年5月 沖縄県）

5)：TDM施策推進アクションプログラム（R4年12月 沖縄県）  
6)：浦添市地域公共交通計画（R6年2月 浦添市）  
7)：てだこ浦西駅周辺スマートシティマスタープラン（R4年3月 浦添市）



#### 主な目標

- ① 沖縄自動車道とモノレールの結節（バス結節、P&R促進、レンタカー連携等）
- ② 乗換機能強化（二次交通結節、多様なモビリティ確保、案内強化）
- ③ まちづくりと連携した拠点形成（にぎわい創出）

【交通結節点としての現状】

- てだこ浦西駅の交通結節機能として、P&R駐車場や駅前広場は既に整備されているが、バスとの結節など多様な交通機能の確保や、観光機能、商業機能、情報発信機能などについては十分とは言えない状況である。



■ 交通結節点として考えられる機能とてだこ浦西駅の現状（参考）

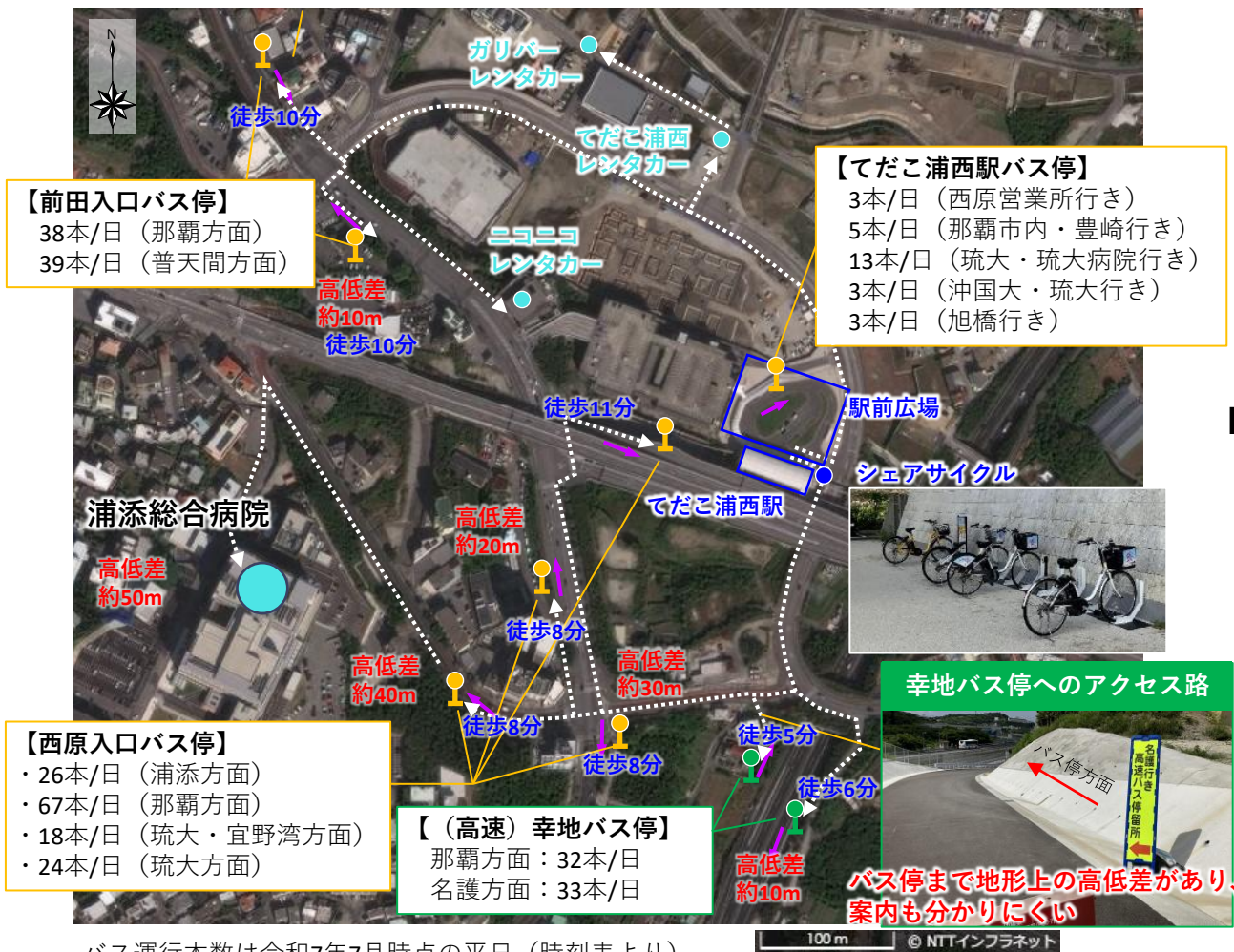
交通結節点として考えられる機能 (H20年度業務にて整理した機能)		てだこ浦西駅の交通結節点としての現状（R6年度）	
交通結節・連携機能		△	P&R駐車場やK&R・タクシー・バスのバース整備済みだが、利用促進における課題あり
交流機能		△	交通広場で不定期のイベント開催はあるが、常時人が集うような施設等が不足
観光機能		×	観光案内等が不足
道の駅機能・商業機能		×	地元の土産物や地域の体験等は提供されず
情報発信機能		×	交通情報や魅力的な情報は提供されず
沖縄都市モノレールと 沖縄自動車道との結節点における 導入機能	パークアンドライド駐車場	○	P&R駐車場整備済
	駅前広場	○	歩行者、自転車、バイク、送迎車のアクセス利便性確保
	モノレールとバスの結節施設及びバスターミナル	×	高速バスとの結節、バスターミナル機能は未達
	レンタカーデポ	×	レンタカー営業所などが駅に近接されていない
	交通・案内情報施設	×	所要時間などのリアルタイムの情報提供は存在せず
	道の駅機能	×	地元の土産物等の扱いなし

備考：「平成20年度 沖縄都市モノレール沿線まちづくり基本計画（沖縄県）」を参考に作成

# 2. 令和6年度に作成した整備方針（案）

## 2-2. てだこ浦西駅における現状と課題

- バス停点在：駅前、駅近隣に多様な方面の路線バス停があるが、それぞれが離れて点在している
- 情報案内：上記の点在バス停や、駅周辺のレンタカーや施設への案内が不足している
- 休憩施設：駅及び周辺の暑さや雨風をしのげる十分な待合室等がない。



### ■ 周辺バス停の案内



- ✓ 案内チラシが分かりにくい
- ✓ 案内が統一されていない

バス運行本数は令和7年7月時点の平日（時刻表より）

## 2. 令和6年度に作成した整備方針（案）

### 2-3. 関係者ヒアリング、アンケート調査の概要（抜粋）

7

#### ヒアリング概要（交通事業者等）

- 交通事業者
  - 対面/WEBヒアリング：4社回答済
  - 調査票による調査：6社回答済
- 周辺事業者
  - 調査票による調査：1社回答済



交通事業者

- ✓ 路線や時刻表、案内板の設置による案内の強化は必須である。
- ✓ 交通広場への路線集約も重要であるが、まずは既存の周辺バス停の更なる活用を促すことからだと考えている。（周辺バス停の利用が増えれば、駅前への集約検討に繋がる。）
- ✓ 様々な交通モードに乗り換えられる場が望ましい。
- ✓ 人が集まる賑やかさが必要（キッチンカーやイベント開催など）



イメージ



商業関係者

- ✓ 商業施設内設置のデジタルサイネージを活用したバス運行情報の発信（同様に駅構内で商業施設を案内するなど相互にメリットのある形で連携）

## 2. 令和6年度に作成した整備方針（案）

### 2-3. 関係者ヒアリング、アンケート調査の概要（抜粋）

8

#### ヒアリング概要（駅利用者等）

##### ● 居住者

- 街頭アンケートによる調査：109名回答
- WEBアンケートによる調査：200名回答

##### ● 来訪者

- WEBアンケート調査：200名回答



居住者

- ✓ 広場正面における案内、高速バスとの乗り継ぎ時の看板、バスのリアルタイム情報の充実が必要
- ✓ 暑さ、風雨をしのげる 快適な待合環境が欲しい
- ✓ コンビニ、カフェ、飲食店が欲しい



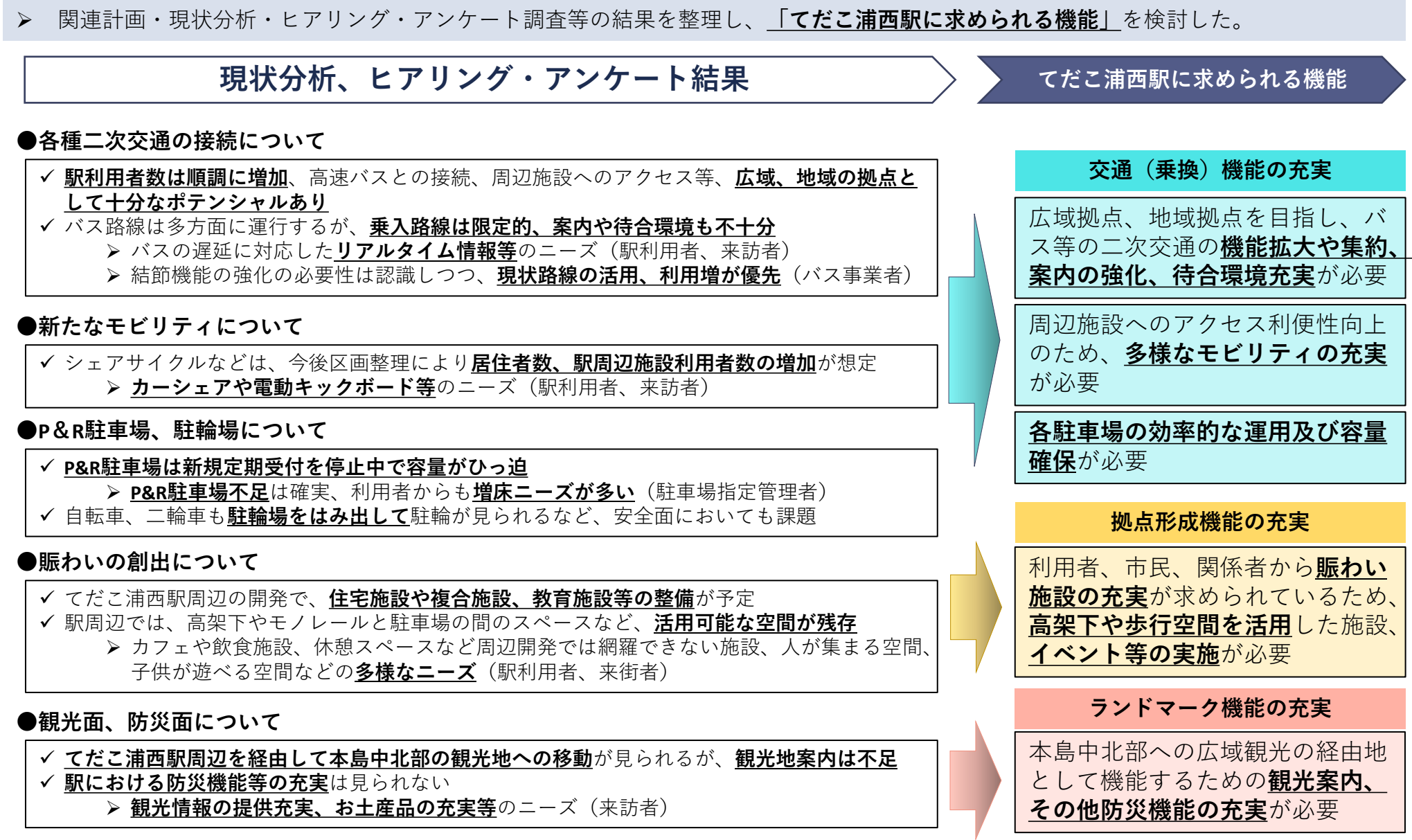
来訪者  
（観光客等）

- ✓ 駅周辺のレンタカー会社が欲しい
- ✓ ベンチ、屋根付きの歩道、改札外のトイレが欲しい
- ✓ 観光案内所や この駅にしかないお土産や飲食店が欲しい

## 2. 令和6年度に作成した整備方針（案）

### 2-4. てだこ浦西駅に求められる機能

9



## 2. 令和6年度に作成した整備方針（案）

### 2-5. てだこ浦西駅交通結節機能強化の整備方針（案）

10

➤ 求められる姿（理想像）の実現に向け、課題解決には、てだこ浦西駅を取り巻く環境の変化も踏まえ、段階的な整備を行う必要がある。

求められる姿 (理想像)		課題		整備方針（案）		
				短期的な整備目標	目指す変化	中長期的な整備目標
交通（乗換）機能	<ul style="list-style-type: none"><li>● 高速バス、路線バス（バス停）の集約・拡充</li><li>● 待合環境の整備</li><li>● モビリティハブの整備（ステーション）</li><li>● P&amp;R駐車場、駐輪場等の更なる強化</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ <u>路線バスの停留所が駅周辺に点在</u>しており円滑な乗換が不十分</li><li>✓ 駅から<u>高速バスの停留所へのアクセス利便性が低い</u></li><li>✓ <u>乗換案内やバス等の待合環境が不十分</u></li><li>✓ <u>駅周辺への移動手段が少ない</u></li><li>✓ P&amp;R駐車場、駐輪場の利用が増加し、<u>駐車容量が逼迫</u></li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 駅構内、交通広場・周辺での乗換案内充実、待合環境強化</li><li>● 二次交通として多様なモビリティの整備</li><li>● P&amp;R駐車場、駐輪場等の改善・強化</li></ul>	駅利用者数の増加  二次交通の利用増  人口、来訪者の増加  区画整理事業の進展  観光客の増加	<ul style="list-style-type: none"><li>● <u>周辺バス路線（バス停）を集約</u>し、モノレールとの接続を強化</li><li>● <u>モビリティハブの本格整備</u></li><li>● P&amp;R駐車場、駐輪場のさらなる強化</li></ul>	
	拠点形成機能	<ul style="list-style-type: none"><li>● 高架下や交通広場を活用した、賑わい・滞留空間の創出</li><li>● まちづくりとの連携</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ コンビニやカフェ、コワーキングスペースの要望あり</li><li>✓ <u>交通広場へのキッチンカー設置、イベント開催などの要望</u></li><li>✓ <u>人が集まる拠点整備が望ましい</u></li></ul>		<ul style="list-style-type: none"><li>● 賑わい施設・溜まり施設の充実 (高架下、交通広場の活用)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 高架下の賑わい施設の強化</li><li>● <u>周辺の複合施設、商業施設と連携したまちづくり</u></li></ul>
	ランドマーク機能	<ul style="list-style-type: none"><li>● 観光案内所設置により観光客の利便性向上</li><li>● 防災機能の確保</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ <u>観光案内所の設置要望</u></li><li>✓ <u>自治体の計画における防災機能の位置づけあり</u></li></ul>		<ul style="list-style-type: none"><li>● 観光案内、防災機能の充実</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● <u>観光案内拠点の確保</u></li><li>● <u>防災機能の確保</u></li></ul>

## 2. 令和6年度に作成した整備方針（案）

### 2-5. てだこ浦西駅交通結節機能強化の整備方針（案）

－ イメージ

11

#### 交通（乗換）機能

- バス（高速・路線バス等）の集約・拡充
- 待合環境、モビリティハブの整備
- P&R駐車場、駐輪場等の更なる強化

#### 拠点形成機能

- 高架下や交通広場を活用した、賑わい・滞留空間の創出
- まちづくりとの連携

#### ランドマーク機能

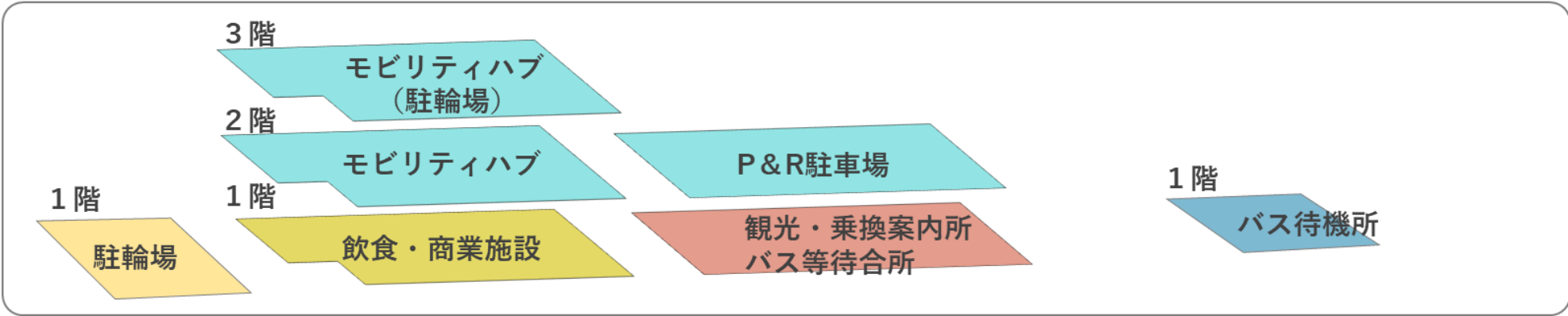
- 観光案内所設置により観光客の利便性向上
- 防災機能の確保



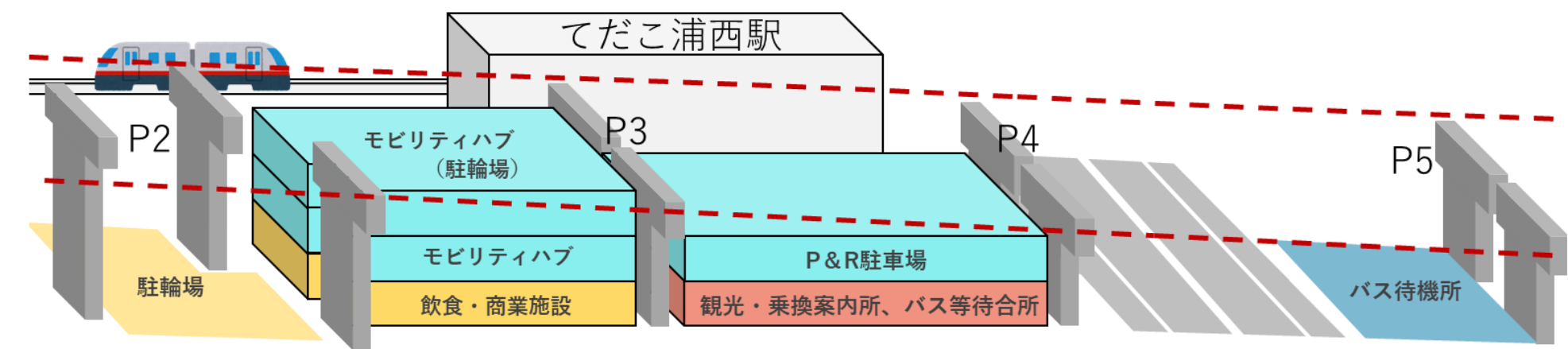
高架下活用した賑わい空間の拡充（イメージ）

高架下を活用し、交通機能としてモビリティハブの整備、拠点形成として商業施設等の整備、ランドマーク機能として観光案内を整備

高架下のフロア構成      （※南側・駅反対側からの視点）



高架下の空間活用イメージ      （※南側・駅反対側からの視点）



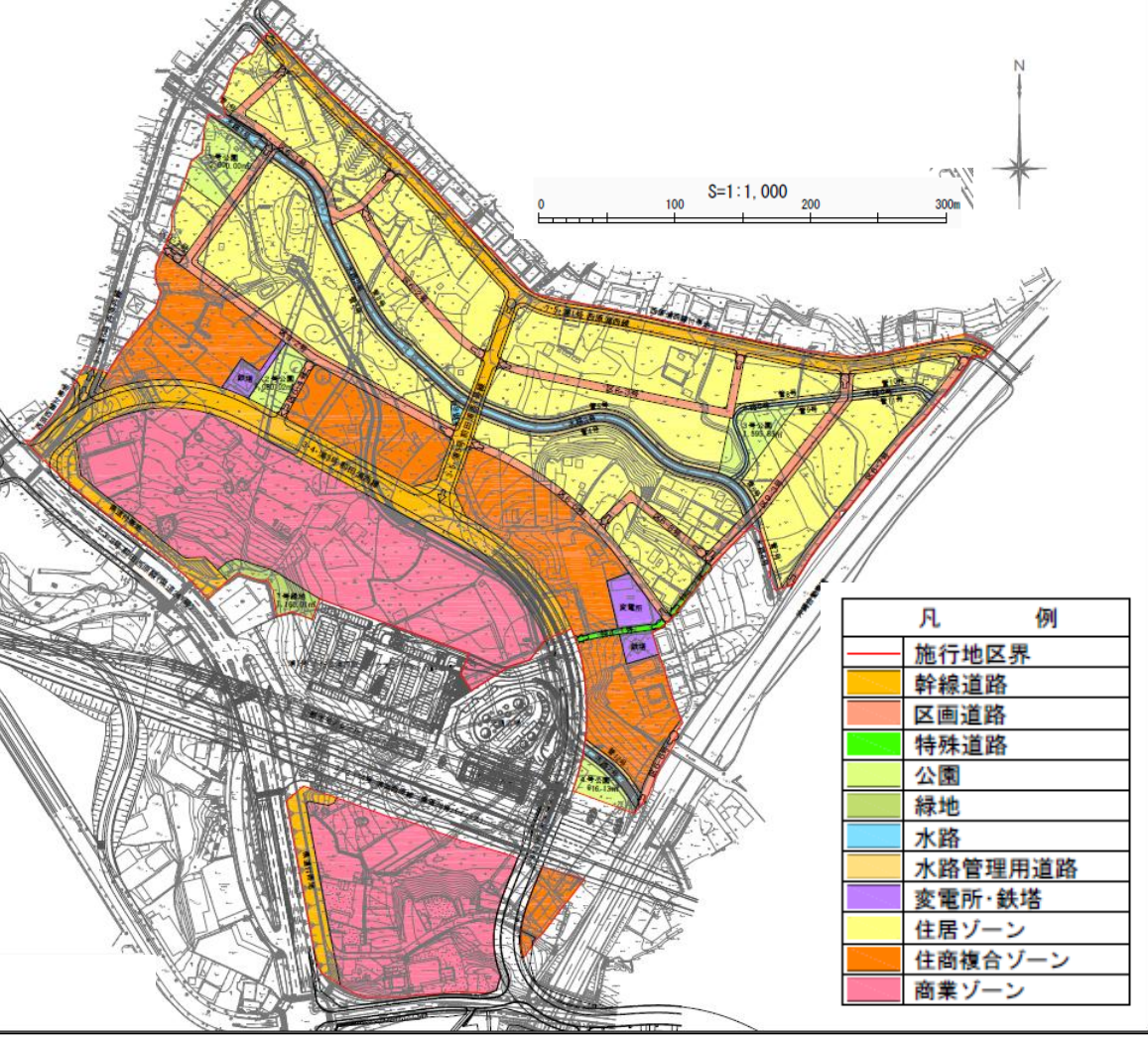
2-6. （参考）本検討における計画範囲

- てだこ浦西駅交通結節機能強化における具体的な検討の範囲は、てだこ浦西駅・駅前交通広場・浦添西原線高架下などの空間。
- 駅周辺では区画整理事業が進展中。（てだこ浦西駅周辺土地区画整理事業）

■てだこ浦西駅交通結節機能強化検討範囲



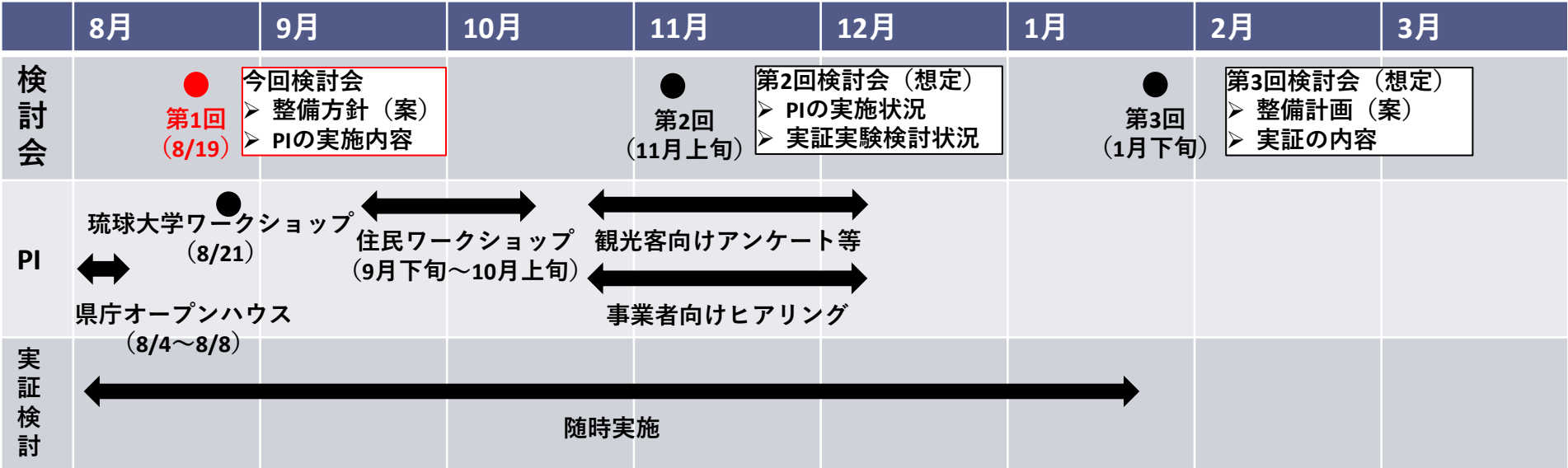
■浦添市てだこ浦西駅周辺土地区画整理事業（土地利用計画図）



引用：浦添市てだこ浦西駅周辺土地区画整理組合HP（土地利用計画図）

【検討概要】

- ① 本検討会の実施運営  
多様な関係者での意見交換
- ② 意見聴取（PI）の実施  
住民、学生、観光客等から整備方針（案）に対する意見を募集
- ③ 実証実験内容の検討  
令和8年度に実施する実証実験の内容について検討
- ④ 整備計画（案）の策定  
整備方針（案）、検討会、PIを踏まえた整備計画（案）を策定



【PIのターゲット設定】

- 交通機能、拠点形成機能、ランドマーク機能の3つの機能を高める施策の具体化に関する意見を把握。
- 短期（特に交通実証実験）、中長期（特にまち開発との連携）のてだこ浦西駅の整備イメージの具体化を目指す。
- てだこ浦西駅及び周辺の主要な利用者像である、①地域住民（近隣/広域）、②大学関係者、③来訪者、④事業者をターゲット層とする。

➡ 異なる利用者像から、多様なニーズについて把握

ターゲット	利用者像	PI実施方法	把握したいこと			まとめ方 （反映方法） ※主な視点
			整備方針 について	短期的な 整備内容	中長期的な 整備内容	
① 地域住民	近隣/広域生活者	ワークショップ、 オープンハウス	各立場からの 3つの機能 （交通機能、 拠点形成機能、 ランドマーク 機能）に対す る意見出し	結節する交通の利 用 意 向 （ 生 活 利 用）	各立場で乗換、滞 在したい場づくり の意見出し	地域住民ニーズに対応 した交通結節や待合環 境の整備等に関する施 策をまとめる
② 大学関係者	通勤、通学者等	ワークショップ、 オープンハウス		結節する交通の利 用 意 向 （ 通 学 利 用 や生活利用）		大学をはじめとした近 隣施設との交通サービ ス確保に向けた施策を をまとめる
③ 来訪者 （観光客等）	来訪・乗継ぎ 利用者	アンケート、 オープンハウス		結節する交通の利 用 意 向 （ 観 光 利 用）		情報案内強化など観光 に関連する結节点強化 施策をまとめる
④ 事業者 （まち、開発等）	開発者、関係者	個別ヒアリング		実証実験など、短 期的に実施できる 事業の関係事業者 と調整	まちづくり連携や 拠点整備など、中 長期的な取り組み が必要な事業の関 係者意見調整	事業者と連携して実施 する施策をまとめる

① 地域住民

- 実施方法 : ワークショップ形式
- 対象者 : 近隣住民（てだこ浦西駅周辺）、広域住民（宜野湾市、西原町、中城村など）
- 実施規模 : 各回20～30名程度
- 意見交換内容 : 近隣、広域住民の立場から、求められる機能（3機能）の意見交換、短期的な実証実験、中長期的な具体的施策、自身の利用意向について



② 大学関係者

- 実施方法 : ワークショップ形式
- 対象者 : 琉球大学生（40名程度）、その他の学生など
- 意見交換内容 : 学生・通学・通勤者の立場から、求められる機能（3機能）の意見交換、短期的な実証実験、中長期的な具体的施策、自身の利用意向について

※琉球大学ワークショップは8/21に実施予定



③ 来訪者

- 実施方法 : アンケート、オープンハウス形式
- 対象者 : 移動形態が多様な観光客、来訪者など
- 実施内容 : てだこ浦西駅内でのブース設営、アンケート調査を想定し、全体の方針案等を提示したうえで、観光等の視点からの意見聴取を実施



④ 事業者

- 実施方法 : 個別ヒアリング形式
- 対象者 : 施策連携の可能性のある事業者・関係者（交通、観光、まちづくりや開発、自治体）
- 実施内容 : 今後の事業展開における連携可能性、実証事業内容等について意見交換



# 5. 今後実施すべき実証実験の方針

## 5-1. 実証実験の方針

17

### 【実証実験内容の検討】

- てだこ浦西駅の結節機能強化に向けて、必要とされる機能においての実証実験を予定している。（令和8年度予定）  
以下、現時点で想定される内容をいくつか整理する。

### 【① 周辺バス停の乗換案内強化】

てだこ浦西駅の最重要課題の一つである高速との結節、  
多方面の路線バスへの乗換利便性向上に資する施策にかかる実証を想定する。

#### 実証実験の内容（想定）

- 駅周辺バス停の乗換案内の強化として、デジタルサイネージ（リアルタイムバス運行表など含む）を仮設置する。



### 【② にぎわい創出に資するイベント開催、キッチンカー等の設置】

駅の賑わい創出に向け、空間を活用した実証を想定する。

#### 実証実験の内容（想定）

- 交通広場等を活用したイベント開催（既存イベントの頻度増、規模拡大など）
- キッチンカー等の仮設置（一定の期間を確保する）
- 周辺商業関係者と連携した取り組み（各種サービス）



事例：ゆいレールまつり



事例：敦賀市国道8号（ほこみちプロジェクトHP）

【③ 琉球大学方面バスの運行拡大】

県の既存計画（右図）では、てだこ浦西駅周辺から各種移動手段を活用して周辺地域への有機的な接続を目指しており、駅近隣にあり移動需要の見込める大規模施設である琉球大学への接続を強化するための実証を想定する。

実証実験の内容（想定）

- 駅から琉大方面（西普天間方面）への早朝便の拡大
- 駅と琉大方面間の日中の増便（学生等ニーズ要調査）



引用：琉球大学HP掲載図（<https://www.u-ryukyu.ac.jp/access/>）を基に沖縄県作成

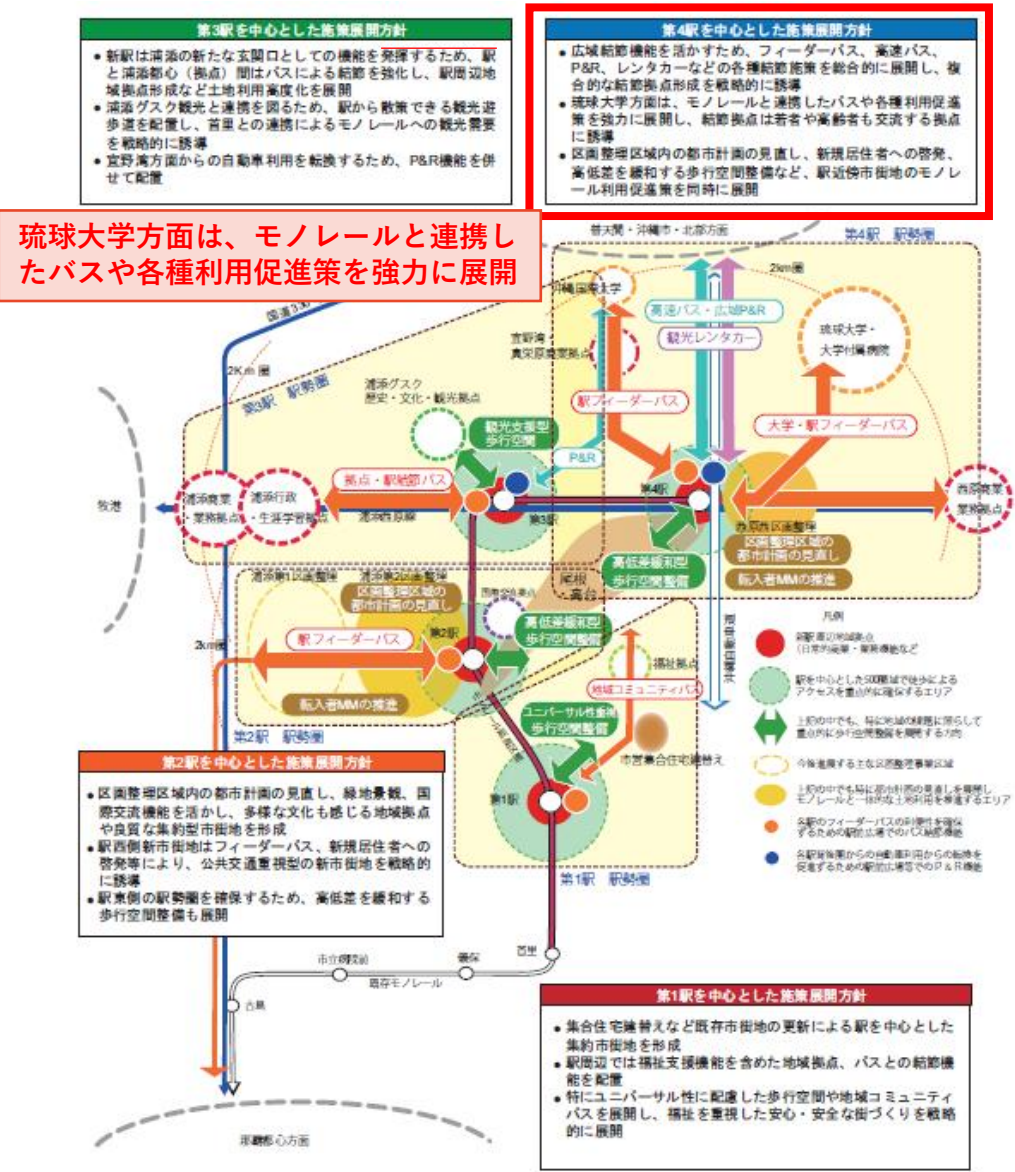
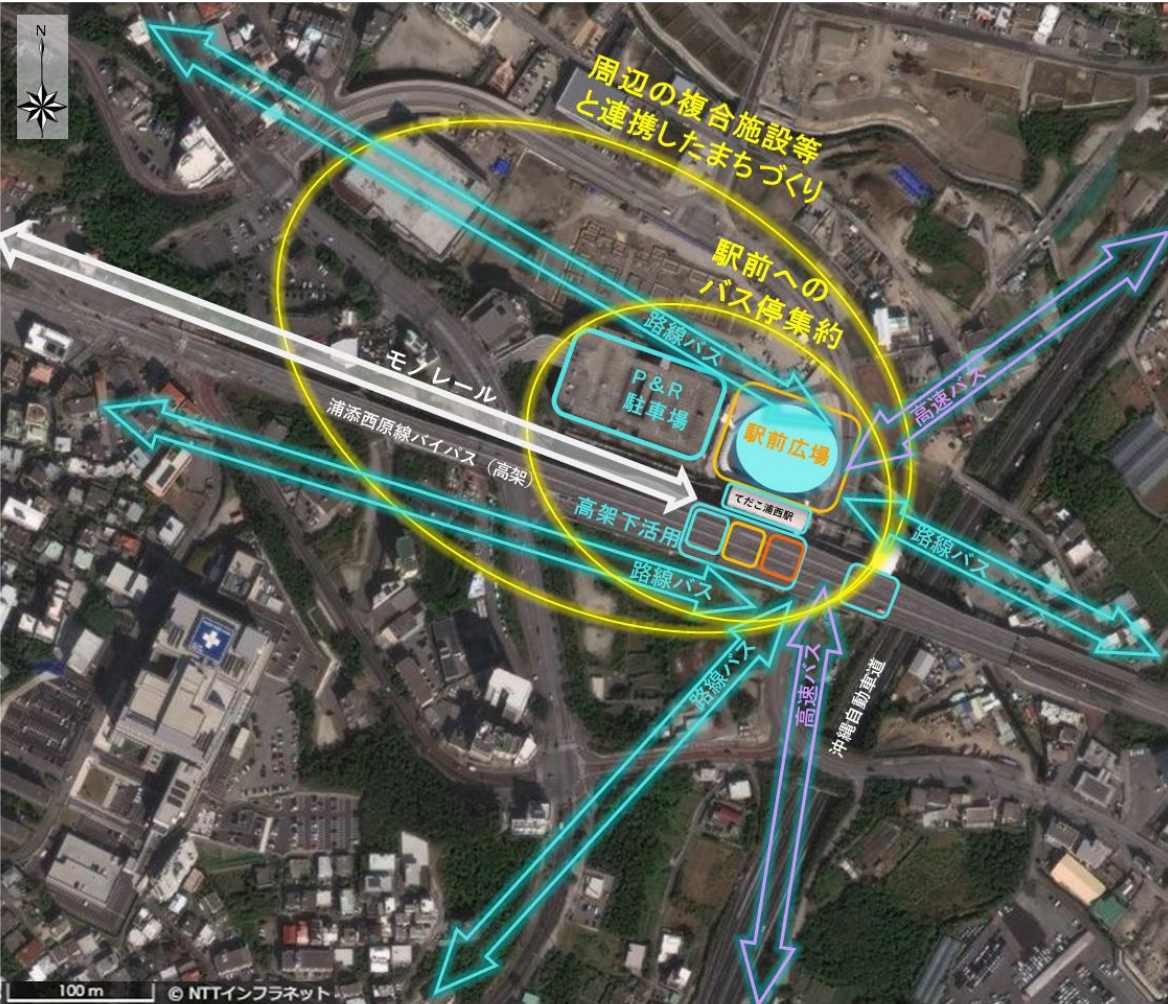


図6-2 モノレール延長エリアの施策展開方針

引用：沖縄本島中南部都市圏都市交通マスタープラン（平成21年3月 沖縄県）

【意見交換①】整備方針（3つの機能）について

- 3つの機能（交通、拠点形成、ランドマーク）について、各立場において求められる内容が正しく反映されているか。  
（各立場：近隣・広域住民、通勤・通学利用者、観光客、事業者など）
- ビジョンの共有



中長期的な整備イメージ

- 周辺バス路線（バス停）を集約し、モノレールとの接続を強化
- モビリティハブの本格整備
- P&R駐車場、駐輪場のさらなる強化

交通（乗換）機能

高速バス ↔ 路線バス の駅前乗入れ（周辺バス停の集約）

高速バス及び多方面のバス乗り場を駅前に集め、モノレールを含む乗り継ぎ利便性を強化  
それにあわせ、案内、待合環境の強化

- 高架下の賑わい施設の強化
- 周辺の複合施設、商業施設と連携したまちづくり

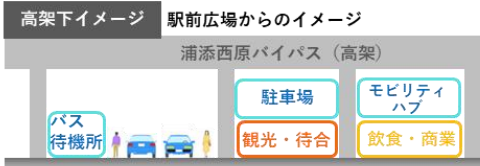
拠点形成機能

- 観光案内拠点の確保
- 防災機能の確保

ランドマーク機能

高架下活用した賑わい空間の拡充

高架下を活用し、交通機能としてモビリティハブの整備、拠点形成として商業施設等の整備、ランドマーク機能として観光案内を整備



賑わい・溜まり施設の強化（周辺部施設・まちづくりとの連携）

周辺の複合施設や商業施設との連携



#### 【意見交換③】PI（住民等参加）の実施方針について

➤ てだこ浦西駅の整備方針も踏まえ、正しくターゲット層が設定されているか。（説明資料 p.15～16）

①地域住民、②大学関係者、③来訪者（観光客等）、④事業者（まち、開発等）

➤ より効果的なPI実施方法となっているか。

※PI実施に関して、連携可能性のある各取組や、実施できる機会、集まりなどの情報があれば共有願います。



引用（１）：うるま市HP（勝連城跡周辺回遊ルートの創出・展開に関する住民意見交換会）

引用（２）：さいたま市HP（新庁舎整備及び現庁舎地利活用の検討）

#### 【意見交換④】実証実験内容（想定）について

➤ てだこ浦西駅の整備方針も踏まえ、優先的に取り組むべき内容となっているか。（説明資料 p.17～18）

①周辺バス停の乗換案内強化、②にぎわい創出に資するイベント開催、キッチンカー等の設置、③琉球大学方面バスの運行拡大

※実証実験実施に関して、連携可能性のある各取組などの情報があれば共有願います。

